

アカデミーでは、林業そのものに加え、林業に携わりながら山村での暮らしを
実践できるなど、特色あるカリキュラムを特長として、
企業との連携を図っています。

安全

二度と悲劇を繰り返さないため、
森林で働くすべての人に

改善

アカデミーが変える！
林業を変えよう
人づくりを

4つの理念講習

—— 滋賀もりづくりアカデミー ——

効率

林業の現場にも
働き方改革の
導入を

活力

バイタリティーをもった
人づくりで
「やま」を健康に

新たに林業に参入されるみなさんが「安心」して「安全」に作業ができる人づくりをめざします。

これまでの経験を踏まえ、快適に作業ができる新たな技術や考え方をもち人づくりをめざします。

山村で暮らすことで「やま」を健康にする、そんなバイタリティーを持った人づくりをめざします。

ICT技術革新により、林業の世界が大きく変わろうとしています。そのため、アカデミーで林業を変えよう人づくりをめざします。



滋賀もりづくりアカデミー
講師
田中崇弘

安全第一で重機やチェーンソーなど誤った使い方をしないよう、基本的な操作を繰り返し行うことに重きを置いています。山の仕事は多岐にわたるので、アカデミーの研修で興味を持った道に進んでもらえればと思います。

就業支援のフォロー体制も万全！
アカデミーでの研修修了後の就業に関して、滋賀県林業労働力確保支援センターなどの機関と連携し、就業相談を行います。

**未経験でも知識や技術が身につく
新規就業者コースで
できること**

研修内容

林業編

森林や林業に関する基本的な講習のほか、チェーンソーを使った基礎的な実習を行います。
(労働安全、林業経営、造林など)


田舎暮らし編

地域に根差した職業体験や田舎暮らしを実践し、多様な技術や暮らしの知恵を学びます。
(①農業 ②大工 ③森林・山村の3コースから選択)

インターン編

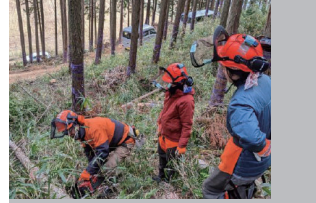
林業会社などの受け入れ先に受講生を派遣し、実際の林業の現場で2か月程度の職業体験を行います。

講習の一例



作業道作設実習

森林作業道を作るため、バックホウを使った実習を行います。このほかにも、林業機械の基礎的な知識を学ぶ講義や実習があります。



林業インターン編

実際の作業現場において本物の木を伐採・造材することで、林業編の講義で学んだ基礎知識や技術を改めて体得するものです。

**竹田さん
休日の過ごし方**

毎日忙しく、何かしらの活動していますが、仕事をがんばったご褒美に、たまに1人で温泉旅行に行くのが楽しみです。ソロ活、温活が楽しいです。

Student voice

**林業の基本から応用までを
学び、やりたいことを
考えることができた**

令和3年から長浜市地域おこし協力隊として活動しています。チェーンソー初心者講習会の企画運営をしたり、市民が少しでも森林と関われる場所を増やしたり、また、薪炭林として活用ができるように市有林の整備をしています。そのほかにも、防獣柵の設置や植林の手伝い、余呉湖周辺の公園整備などをして、そこで伐った木を利用して薪にしています。元々会社員をしていた林業に関する知識がゼロだった私ですが、滋賀もりづくりアカデミーで、基本から応用までを勉強し、知識と技術を身につけていく中で、「これから何をやっていくか」を考えることができました。現在は、自分で木材の乾燥機小屋を建てており、今後事業として木工・家具用材の生産をめざしていきます。

**受講者
竹田さん
(令和3年度修了)**






滋賀で“林業”を
学ぶということ

Student voice

**滋賀県の林業を
担っていくために仲間と
支え合って学んだ半年間**


令和5年11月から滋賀中央森林組合の作業班で活動しています。内容としては、山での伐倒作業や保育作業として20年生の木の枝打ちや測量、毎木調査等々、様々なことをさせてもらって充実した毎日を送っています。滋賀もりづくりアカデミーでは林業を基本から学び、同じ受講生の仲間たちと支え合って色々な資格も取得できたことで、それまで林業未経験の私でしたが森林組合への就業に繋がったと思っています。現在、高齢化によって、作業班の人員が減っていて、班長も60代、70代の方が多く、40代が若いくらいです。私は、そんな滋賀県の林業を担っていくために、これからも一緒に学んだ仲間たちとの縁も大切にしながら、班長をめざしてがんばります。

**受講者
上田さん
(令和5年度修了)**



募集概要

新規就業者コースでは、新たに林業への就業を目指す方を対象に研修を行います。森林や林業についての基本的な知識や技術を習得し、山村に活力を与える人材を育成することを目的としています。

募集定員	6名程度	前期 3名程度 後期 3名程度
受講経費	無料	
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込時点の年齢が45歳未満の方 ● 普通自動車運転免許を有する方 ● 林業への就業の意志のある方 	
応募方法	二次元バーコードまたは下記URLより「滋賀もりづくりアカデミー」のHPにアクセスいただき「申込みフォームへ」よりご応募ください。 https://kenshu7.wixsite.com/shigamori-academy 	
研修期間	前期 令和6年5月24日(金)～令和6年10月31日(木) 後期 令和6年9月2日(月)～令和7年2月27日(木) <small>※日程は都合により変更になることがあります</small>	
応募期間	前期 令和6年3月21日(木)～令和6年5月8日(水) 後期 令和6年3月21日(木)～令和6年8月9日(金) <small>※日程は都合により変更になることがあります</small>	

「新規就業者コース」を受講すると、次の資格等が取得できます。

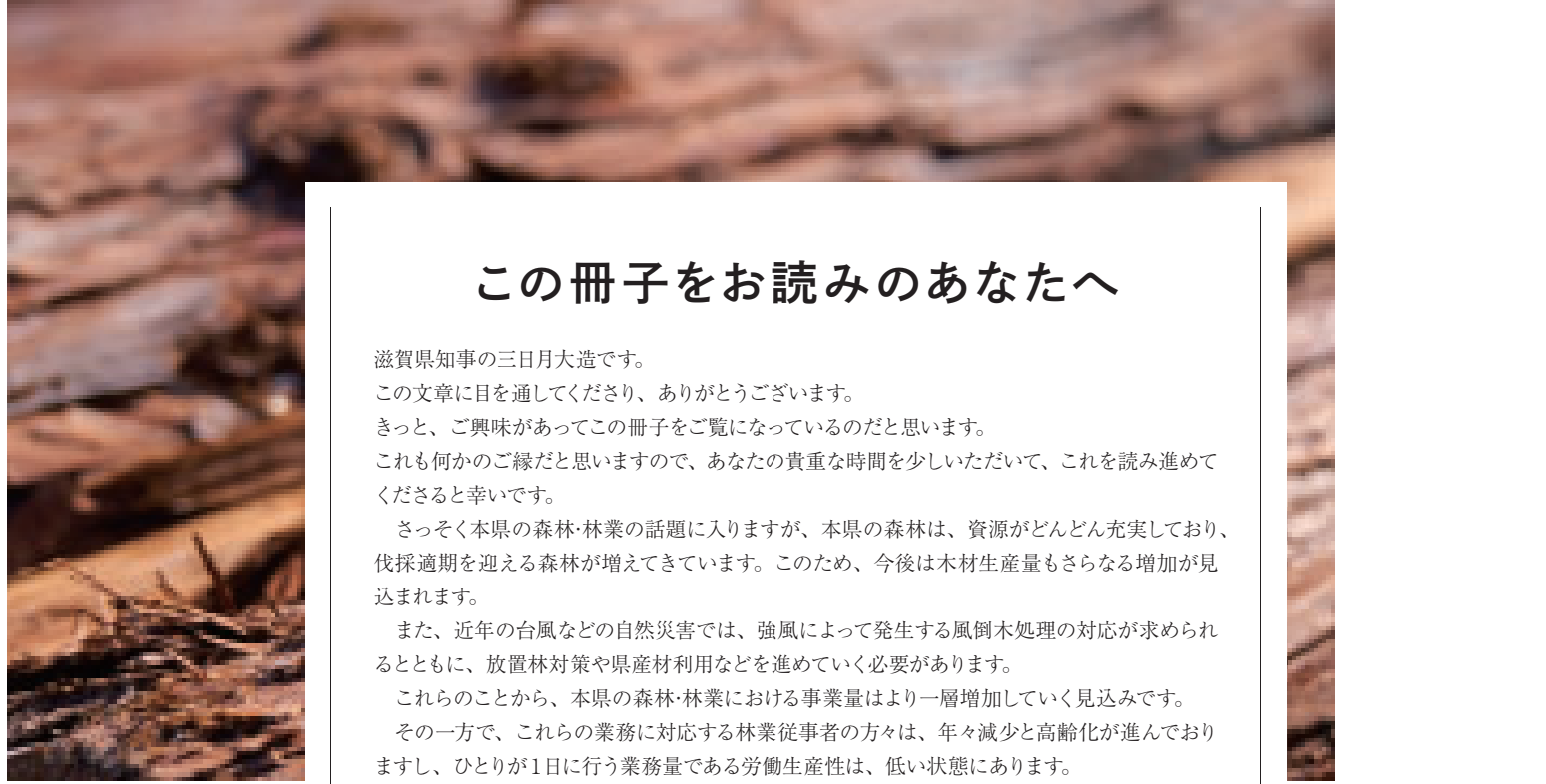
- ① 伐木等の業務にかかる特別教育
- ② 刈払機作業の従事者安全衛生教育
- ③ 小型車両系建設機械特別教育(3トン未満)
- ④ 車両系木材伐出機械(走行集材機械)運転業務特別教育
- ⑤ 車両系木材伐出機械(伐木等機械)運転業務特別教育
- ⑥ 普通教員講習

市町職員コース	既就業者コース
森林や林業を担当している滋賀県内の市町職員の方を対象としたコース。専門知識の習得や森林経営管理制度などの実務を学びます。	既に森林組合や民間事業者の作業班員として就業している方が対象。作業の安全確保や伐採・搬出技術の向上などを目指します。

**上田さん
休日の過ごし方**

テレビゲームをしたり、1人でアクション系の映画を観に行ったりします。
たまに、土日に飲食店でアルバイトをしています。

SHIGA MORIDUKURI ACADEMY



この冊子をお読みのあなたへ

滋賀県知事の三日月大造です。
この文章に目を通していただき、ありがとうございます。きっと、ご興味があってこの冊子をご覧になっているのだと思います。これも何かのご縁だと思っておりますので、あなたの貴重な時間を少しいただいで、これを読み進めてくださると幸いです。

さっそく本県の森林・林業の話題に入りますが、本県の森林は、資源がどんどん充実しており、伐採適期を迎える森林が増えてきています。このため、今後は木材生産量もさらなる増加が見込まれます。

また、近年の台風などの自然災害では、強風によって発生する風倒木処理の対応が求められるとともに、放置林対策や県産材利用などを進めていく必要があります。これらのことから、本県の森林・林業における事業量はより一層増加していく見込みです。その一方で、これらの業務に対応する林業従事者の方々も、年々減少と高齢化が進んでおりまして、ひとりが1日に行う作業量である労働生産性は、低い状態にあります。

これらの課題を解決するために、令和元年6月に「既就業者」、「新規就業者」、「市町職員」を対象とした新たな森林・林業人材育成機関として、「滋賀もりづくりアカデミー」を開講しました。このアカデミーにおける私の思いとして、3つのことを紹介します。

1つめは、**滋賀ならではのことをやっていきたい**。
真中に琵琶湖のある本県は、周囲を山々に囲まれています。山と湖とは離れていますが、川や里とのつながりを通じて結びつきは比較的近いと感じられることから、「森～川～里～湖」を意識した森づくりをやってきたいのです。

2つめは、『**やまのこ**』からの**継続性・連続性を大事にしていきたい**。
『やまのこ』は、本県独自の取組で、県内全ての小学4年生を対象としており、『やまのこ』、そして小学5年生で『うみのこ』とそれぞれの学習を行っています。この『やまのこ』で学んでもらったことが将来に繋がって欲しいと思っています。

3つめは、**山村で暮らす生業づくりにチャレンジしていきたい**。
アカデミーでは、林業技術を身につけるだけでなく、山村での暮らしを通しての生活の知恵や技術をどんどん身につけていただき、生業づくりにチャレンジしていただきたいと思っています。本県の森林・林業、山村地域には課題があります。ただ同時に課題は可能性です。課題を問題だと捉えて見直しをしようか、可能性だと捉えて一歩前に出るのか？ 私たちは、みんなで力を合わせて一歩前に出て、よりよい山にして次の世代に引き継いでいきたいと思っています。

ぜひ、一緒にやりましょう！



滋賀県知事
三日月大造



いろいろな“好き”が

アウトドア、自然、のんびり時間：

林業の入り口に



ACCESS

公共交通機関

JR琵琶湖線野州駅から
近江鉄道バス「近江富士花緑公園」行き
「林業普及センター」下車徒歩3分

車

名神高速道路栗東ICより約7km、
国道8号線を近江八幡方面へ。
「三上神社前」交差点を右折、
2つ目の信号を左折、約2.2km(駐車場無料)

連絡先

滋賀もりづくりアカデミー事務局
(滋賀県林業普及センター内)
〒520-2321
滋賀県野州市北桜978-95
TEL:077-584-4711
FAX:077-584-4755
E-mail:kenshu@shigamori.or.jp



滋賀県 琵琶湖環境部
びわ湖材流通推進課 普及指導係
TEL:077-528-3911
FAX:077-528-4886
E-mail:dj00@pref.shiga.lg.jp

この事業実施ならびにパンフレット製作には、
森林環境譲与税を活用しています。

滋賀もりづくりアカデミー 受講生募集案内

令和6年度
《 新規就業者コース 》

STUDENT RECRUITMENT
INFORMATION



作業の合間に
ほっとひととき
林業だからできる
癒しの時間

住んだらわかる！ 滋賀の魅力

優れた交通アクセス

近畿圏、中国圏、北陸圏の結節部に位置する滋賀県、新幹線や高速道路を併せての移動も便利で、東京、大阪、名古屋といった大都市からもアクセスしやすいのが特徴です。



若者が多く暮らしやすい

平均年齢は45.9歳で全国4位、出生率は7.4人で全国6位となっています。また、旅行や行楽、学習、スポーツなど活動的な県民という調査結果も発表されています。



美味しいものが多い

日本最大和牛の産地である近江牛をはじめ、琵琶湖産のびわの果汁を使った餅すしや近江米、メロコや梨といった果物や野菜など、滋賀産の豊かな自然が育んだ特産品がたくさん。



豊かな自然や周辺都市へのアクセスの良さなど、滋賀での暮らしはほどよく便利なポイントが盛りだくさん！有名どころだけじゃない、滋賀の暮らしやすさを紹介します。

国宝彦根城

約20年の歳月をかけて建設され、1625年に完成した彦根城。明治時代の廃城や戦火を免れ、外観の美しさを保ち、城本丸の機能としても使われており、1955年に国指定された。



やっばり琵琶湖

日本最大の淡水湖として親しまれている琵琶湖は、約400万年もの歴史をもつ日本最古の湖。60種を超える固有種を誇り、近畿圏の生活や産業の発展に欠かせない資産となっている。



移住のサポート体制も 万全

移住のためのポータルサイトをはじめ、相談センターや各種イベントなど、滋賀県への移住に興味を持ったら利用したい窓口が充実しているのもうれしい。

移住ポータルサイト 「滋賀ぐらし」

滋賀県へ移住した人々のインタビューやイベントのレポート、移住支援制度の紹介など、移住に関することならまずこのサイトへ。



<https://www.pref.shiga.lg.jp/iju/>

しがUU相談センター

滋賀県への移住を検討している一人ひとりの希望に応じて、仕事や住まい、地域情報や支援制度など、情報の提供や相談ができる。



県の相談窓口

滋賀県総務部市町振興課
TEL:077-528-3231
E-mail:iju@pref.shiga.lg.jp

そのほか、各市町でも相談窓口を設けています。

